

◆第1回 テーマ別読解演習「言語・コミュニケーション関係」①/説明文

今回は説明文の学習で、テーマは言語・コミュニケーション関係です。㊦の「森本哲郎」の文章では、日本語でよく口にする「よろしく」に、どのような意味があり、それに対して筆者がどのような考えをもっているのかをおさえましょう。㊧も同じような内容になっています。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

㊦ 問二 接続語の問題です。空欄の前後をよく読んで、つながりをおさえましょう。

問三 指示語の問題です。傍線部の前をよく読みましょう。

問八 「あつかましい」と考える筆者の主張をおさえましょう。

㊧ 問二 言葉の意味を問う問題ですが、ここでは文脈から判断します。

問五 この問題もまた、問二と同じように文脈から考える問題です。

問九 ここでは日本文化と対照的なフランス文化の特徴をおさえます。

宿題 問四 言葉についての説明文ですが、特に詩の言葉の働きをおさえるようにしましょう。

問七 具体化の問題ですが、空欄補充を抜き出しで答える問題です。こういう問題の形式にも慣れていきましょう。

◆第2回 テーマ別読解演習「言語・コミュニケーション関係」②/説明文

今回も説明文の学習で、テーマは言語・コミュニケーション関係です。㊦では言葉をテーマにしていますが、ここでは「方言」に着目していますが、「方言」だけではなく、対照的な「共通語」もどんな働きなのかをおさえます。㊧は日本語の「美しい言葉」「挨拶の言葉」について説明しています。視点が移っていく過程をおさえましょう。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

㊦ 問二 理由の問題です。傍線部の前後に書いてある答えの根拠を探しましょう。

問五 乱文整序の問題です。こういう問題にも慣れておきましょう。

問六 空欄補充の問題です。文脈を読み取って、正しくあてはめましょう。

㊧ 問三 設問にある「特異」の意味をしっかりとおさえましょう。

問五 比喩的な内容をわかりやすい表現になおす問題です。その比喩表現を使ってなにが良かったかを考えましょう。

問十 この文章での「形式」の意味をおさえましょう。筆者の主張につながっていきます。

宿題 問二 (2) A から D の「国語力」で、意味のちがうものを選びます。前後の文脈をおさえるようにします。

問四 抽象化した適切な言葉をいれましょう。

◆第3回 テーマ別読解演習「言語・コミュニケーション関係」③/説明文

前回に続き、今回も説明文の学習で、テーマは言語・コミュニケーション関係です。㊦では「相談」にも2種類あることを述べていますので、その違いをおさえるようにします。また、㊧では「友達づき

あい」を通してのコミュニケーションのあり方を説明しています。この文章も対比しながら説明していますので、筆者の主張がわかりやすくなっています。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

⊙ 問三 「明確な解答」の意味をおさえましょう。

問四 理由の選択問題です。文章の内容とあうものを選びましょう。

問九 筆者の主張を説明する文の空欄を抜き出して答える問題です。こういう問題の形式にも慣れていきましょう。

㊦ 問三 内容の具体化の問題です。選択問題になっていますが、文章に書かれている数字の意味を正しくおさえましょう。

問五 「～せざるを得ません」という言い回しを覚えておきましょう。意味も確かめておきましょう。

問七 理由記述の問題です。筆者の主張をおさえながらまとめましょう。

宿題 問五 傍線部は抽象的な表現ですのでわかりにくいかもしれませんが、筆者の主張をしっかりとおさええて考えましょう。

問六 キーワード指定された記述問題です。こういう問題にも慣れておきましょう。

◆第4回 入試問題研究①

今回は入試問題研究です。入試問題を解くのですが、時間を計って、解答用紙に書き込みます。入試問題なので、難問に時間をかけ過ぎずに、問題選定をしながら解く実戦的な学習をします。今回は文章題が2題と語句が1題とあります。⊙から取り組む必要はありません。全体を見わたして、解きやすそうな問題から取り組みましょう。解答には配点を書いてあるので、WEBを見ながらマルつけをして、得点も出してみましょう。

⊙ 問四 具体化の問題です。文中の言葉を使ってまとめましょう。

問五 単に「自分のことを心配してくれた」は不十分です。それまでの自分の気持ちも書きましょう。

問九 暗示・象徴の問題です。出来事を通して筆者の主張を考えましょう。

㊦ 問一 選択肢の比喩の意図を考えましょう。

問四 具体化の問題です。

問六 傍線部の表現がどのようなことを表しているかを問う問題です。難問ですが、解説を聞いて理解してください。

・ 語句の問題です。全体を見て、まず語句から取り組みましょう。

web 教室◆日能研からのお知らせ 9月号 5 難選抜 web 選抜算数

9月から5年生後期の学習を進めていきます。5年生後期で学習する単元は入試問題でもよく出題される単元が次々と出てきますので、しっかりととりくみましょう。

この講座は、日能研本科教室カリキュラムがベースになっています。本科教室で学んだことを深めることを目的にした講座となりますので、大切なことは、「本科教室をしっかりと理解した上で受講すること」です。この基礎にあたる部分を大切に、取り組むようにしてください。

動画の構成としては、まずは「例題」が各回3～4題収録されています。例題は動画を見ながら解法の手がかりとなる考え方を習得してください。例題の次には、練習問題として、例題の数値替えの問題が収録されています。機械的に数値を入れ替えて答えを出すのではなく、もう一度解法を確認しながら取り組むようにしてください。練成問題は、例題から派生した問題を中心に収録しています。このうち、例題から少し離れるタイプのうち、特に重要なものを動画で扱っています。

第1回・第2回は、前期の総復習となりますので、演習形式で「割合」「平面図形」を深めていきます。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第1回 割合のまとめ

前期に学習した重要単元「割合」の総復習です。何が基準になっているかをしっかりと確認しながら取り組みましょう。ただし、すべて問題文に書かれていますので、文章理解を進めていきましょう。また、解法の最大のツールは線分図です。混乱しないためにも、割合と実数をきちんと分けて描く習慣をつけておきましょう。

今回は、全問動画で収録しています。まずは、自力で問題に取り組み、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば動画を見てみましょう。**1**～**8**までは取り組んでおきましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第2回 平面図形のまとめ

前期に学習した重要単元「平面図形」の総復習です。平面図形は後期でも学習するのですが、取り組みとしては、「比を利用して考える」こととなります。そのため、具体的な長さから面積を求める、角の大きさを求める、というような問題はしばらく目にふれないこととなります。総まとめだと思って、真剣に取り組みましょう。

今回は、全問動画で収録しています。まずは、自力で問題に取り組み、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば動画を見てみましょう。**1**～**6**までは取り組んでおきましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第3回 場合の数Ⅰ

場合の数の単元の中でも「順列」がテーマです。並べる順番も考慮して考えることが重要です。「積の法則」を利用して計算で求めることができる問題もありますが、基本は「樹形図」などを利用してかき出すこととなります。面倒がらずに整理していきましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－カード並べ①

「0」のカードに注意しながら並べていきましょう。あとは、きれいに枝分かれしていきまので、千の位で場合分けすると、理解が深まります。

例題2－カード並べ②

条件付きのカード並べです。倍数の見分け方を理解したうえで、取り組むようにしましょう。

例題3－条件つき順列

「AとBがとなりあう」「AとBがとなりあわない」この関係が理解できましたか？場合の数では、「全体から条件以外の場合の数を除く」という考え方を使うことがあります。確認しておきましょう。

例題4－色塗り

条件を確認しながら、樹形図をかいていくことで解答に近づきます。また、同じ色を塗る場所を決めることで、積の法則を利用することもできます。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第4回 場合の数Ⅱ

場合の数の単元の中でも「組み合わせ」がテーマです。並べる順番は考慮しないことが重要です。順列と組み合わせが混乱しないように整理しておきましょう。また、場合分けすることが大切な問題も多いです。これを機会にしっかりと練習を積んでおきましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－組み合わせの基本

たし算を利用した解法もありますが、ここでは、「コンビネーション」を使った解法を学習しました。計算の方法をしっかりと理解しておきましょう。

例題 2 – 組み合わせと積の法則

「給食当番を選んだ」あとに「そうじ当番」を選ぶことになります。それぞれは組み合わせの考え方ですが、選び方は区切りをつけていますので、全体の場合の数は積の法則を利用しますね。しっかりと理解を深めておきましょう。

例題 3 – 組み合わせの応用

最終的には「赤玉 2 個、黒玉 3 個、白玉 1 個を一行に並べる並べ方」を求めるのですが、その手順を理解しておきましょう。考え方は例題 2 と同じです。

例題 4 – 場合の数の応用

「とりだして」→「並べる」という 2 段階で考えます。言葉の意味をしっかりと理解して取り組むようにしましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。